

佐藤 高 清 議員



市長選挙での選挙公約は

問

市長は今回の選挙で選挙公約をしたか。

4点の公約をした

答 市長

①民間企業から学ぶローコスト運営の推進、②市長給料の2割カット、③市長の通勤時は公用車を使用しない、④市民の立場に立った窓口行政レベルアップとサービス向上を図る。以上の4点である。

問

市長は選挙中、共産、自民、民主各党の支持や推薦を受けたと聞いたが、各党との関係は。

答 市長

無党派の立場で、いわば

市民派という形の中で選挙戦をした。

本来の給料を受け
ればよいのでは

問

市長給料の2割削減について、予算審議で削減の対象が給料なのかボーナスなのか等、混乱を招くような条例の改正を出すよりも、本来の給料を受ければよいのではないか。

就任した一つの
決意・姿勢である

答 市長

市長に就任し、いろいろな問題に取り組んでいく私の一つの決意、姿勢である。

問

施政方針のどの部分に、民間企業のローコスト運営が表現されているのか。

答 市長

一つの考え方としてそれを行政の中でも取り入れ、全体的な行財政の中に生かしていくことが基本であり、具体的に行政を進める上においてその都度対応していきたい。

リーダーシップ
の発揮の仕方は

問

今後、市長としてのリーダーシップをどのように発揮するのか。

民意を慎重・真剣
に考えていく

答 市長

市民の総意を、明確に理解することが正しいと考え。少数派意見や反対意見

だからだめだということではなく、民意を慎重、真剣に考えていくことが大事である。

それでリーダーシップを発揮すれば、必ず市民の理解が得られると思う。

問

市長は、選挙で多選による弊害や世代交代を訴えたが、行政に携わる者に必要な要素は何と考えるか。

答 市長

挑戦者の立場として、現職と反対軸を持つことは選挙戦の一つの手法であり、若さ、情熱は反対軸として一般的だと考える。

問

市長のブログについて、選挙違反の疑いに対し、その後どんな措置をとったのか。

答 市長

選挙後、私の支援者の一人が、公職選挙法に触れる恐れがある掲載をしたことに、全員協議会での議員方の声を聞き、真摯な気持ちで取り消した。